

環境教育揭示用教材 指導資料

環境教育揭示用教材は、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、私達を取り巻く環境に着目し、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的として作成した教材です。

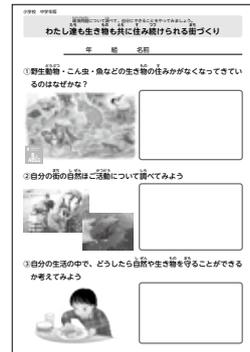
本指導資料では、環境教育揭示用教材の授業等での活用例を紹介します。

環境教育揭示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

わたし達も生き物も共に住み続けられる街づくり

① 表題



② ねらい

身近な生物と人間が共存する持続可能な自然環境を保全しようとする意欲を育成する。また、東京の島しょの抱える自然環境の課題とSDGsの関連を理解する。

③ 環境教育で対象とする主な内容 (ESDの構成概念)

資源の循環(相互性)、自然や生命の尊重(多様性・公平性)、生態系の保全(相互性・責任性)、生活様式の見直し(責任性)
 ※環境教育指導資料 P8、P9 参照

④ 主なSDGsとの関連

【SDGs11】住み続けられるまちづくりを (小学校・中学校共通テーマ)
 【SDGs 2】飢餓をゼロに、【SDGs14】海の豊かさを守ろう、
 【SDGs15】陸の豊かさを守ろう

⑤ 主な活動

活動内容 (○主な活動)	教師の支援 (◇留意点)	◆揭示用教材等との関連
○揭示用教材①を見て、自然と人と生き物の関わり合いについて話し合う。	◇生物多様性の意味に気付かせる。	◆揭示用教材①
○揭示用教材②を見て、伊豆大島の自然環境保全について話し合う。	◇伊豆大島の自然環境保全について理解させる。	◆揭示用教材②
自然と生き物と人間のつながり		
○揭示用教材③を見て、人の暮らし方と自然と生き物の関係について、個人やグループで調べ、学級全体で話し合う。	◇イラストを参考に、人間の活動が自然や生き物たちに影響を与えていることを考えさせる。	◆揭示用教材③ ◆ワークシート①
○揭示用教材④を基に、東京都の取組を知る。	◇東京都の環境保全の取組について理解させる。	◆揭示用教材④ ◆環境教育指導資料 P49～
○揭示用教材⑤を参考に、自分の住んでいる街で取り組んでいる自然保護活動を調べる。	◇イラストを参考に、自分の住んでいる街の取組を調べさせる。	◆揭示用教材⑤ ◆ワークシート②
○揭示用教材⑥を参考に、自分にできることを考える。	◇児童一人一人が自然環境保全につながる生活を心掛ける必要があることに気付くよう、振り返らせる。	◆揭示用教材⑥ ◆ワークシート③
○気付いたことや感想を発表する。	◇【SDGs2】にも必要に応じて触れる。	

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。

※東京都教育委員会ホームページで、環境教育指導資料及び本揭示用教材のイラストや図表等を公開しており、拡大して授業等で活用できます。



かんきょうもんだい 環境問題について調べて、自分にできることをやってみましょう。

わたし達も生き物も共に住み続けられる街づくり

年 組 名前

① 野生動物・こん虫・魚などの生き物の住みかがなくなっているのはなぜかな？



② 自分の街の自然ほご活動について調べてみよう



③ 自分の生活の中で、どうしたら自然や生き物を守ることができるか考えてみよう

